

第4回 フォーム処理②

課題4 - 1

★第1段階（ファイル名：kadai04_1.php）

kadai04_1.php において、「学科（年数）」と「コース」を kadai03_resource.php からデータを取得し表示してください。

下図赤枠部分のプルダウンリストに配列の項目がリスト表示され、選択できること。

また、各リストの上から順番に value には数値を設定すること。

サーバーサイドスクリプト演習 1

ファイルアップロード

学科	コース	備考
高度情報処理研究（4年制）	IT開発エキスパート	
名前 ※必須		
ECC 太郎		
フリガナ ※必須		
イーシーシー タロウ		

入力内容の確認

★第2段階（ファイル名：kadai04_1.php）

「入力内容の確認」ボタン押下時、POST 形式にて kadai04_2.php にデータが送信できるようにしてください。

課題 4 – 2

★第 1 段階（ファイル名：kadai04_2.php）

課題 4 – 1 から受け取った POST データをフィルタリングして、配列に格納しましょう。

① 配列を宣言する

\$postData は POST データをフィルタリングして格納する用

\$viewData は表示データを格納する用

```
$postData = [];  
$viewData = [];
```

② 配列\$postData にフィルタリングした値を格納する

例：kana のデータに適用するフィルタはデフォルト（省略）、department と course のデータには「FILTER_VALIDATE_INT」（int 型）を使用する。

③ 「名前」「フリガナ」に関しては\$postData の値に mb_convert_kana 関数を用いて、スペースは半角、カタカナは全角、濁点付きの文字は 1 文字に変換してください。

④ 文字列に関しては、trim 関数を用いて、前後の空白を除去してください。

※該当する項目すべてに適用すること。

⑤ \$postData の名前とフリガナが空白でなければ、それぞれを\$viewData 配列に格納してください。

※空白の場合は、それぞれ「名前が入力されていません」「フリガナが入力されていません」と \$viewData には格納すること。

⑥ 「学科」と「コース」はそれぞれ kadai03_resource.php の\$departments と\$courses から該当する数値を判別して、文字列を\$viewData に学科名とコース名として格納してください。

★第2段階（ファイル名：kadai04_2.php）

① 配列\$viewData の各内容を画面表示してください。

※表示の際に、テキストに「<hr>」などのタグが入れられた場合は、そのまま文字列として表示するように、kadai04_utils.php 内の関数を呼び出すこと。また、改行が正しく反映されるように、nl2br を使用すること。

■実行結果（kadai04_1 入力）

サーバーサイドスクリプト演習 1

ファイルアップロード

学科	コース	備考
マルチメディア研究（3年制）	IT開発研究	メモメモ
名前※必須		
ECC 太郎		<hr>
フリガナ※必須		メモ メモ
イーシーシー タロウ		

入力内容の確認

↓

■結果（kadai04_2.php）

サーバーサイドスクリプト演習 1

form送信（POST）の結果画面

学科	コース	備考
高度情報処理研究（4年制）	IT開発エキスパート	メモメモ
名前		
名前が入力されていません		<hr>
フリガナ		メモ メモ
フリガナが入力されていません		

戻る 送信

② 「戻る」 ボタン押下時、kadai04_1.php に画面遷移するようにしてください。